

## ～元気の出るエピソード～

コーヒーといえば、私たちの代表的な嗜好品ですね。おいしいコーヒーを飲まないとい日が始まらない、という方も多いのではないのでしょうか。今回は、作業療法で行っている「コーヒー療法(情動療法)」についてご紹介させていただきます。

暴力・易怒性・対人トラブルを主訴として入院となったA様は、入院時より自室に籠りいつも一人で読書をしている方でした。体操や脳トレに誘致しても意欲の低下みられ、何をすることもおっくうで他の患者様との対人交流やリハビリ参加が困難な状態でした。

リハビリでは、信頼関係の構築から始め、対話を通して“どのような人生を送ってきたのか”“どんなことに興味関心があるのか”など聴取することで、徐々に発語も増え数年前まで家族で喫茶店を営んでいた頃の話やお店自慢のおすすめコーヒーの話など色々なことを話して下さるようになりました。今では、嬉しそうにコーヒー豆を挽きながら、他の患者様にコーヒーの美味しい淹れ方を教えるなど前向きにリハビリに参加出来ています。患者様のその人らしさや生きがいを取り戻せるように、今後もリハビリを行っていきたいと思います。

作業療法士 細井健吾

## 診もり短歌



今日またバスで迎えた老いたちの  
 デイケア始まる  
 体調確認し  
 Dr.ねざし

デイケアの送迎バスの出迎え

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

# よつば通信 3月号

発行日 令和5年3月1日

3月を迎え、日ごとに春めいてまいりました。皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、新型コロナウイルスとの戦いも3年が経過し、現在のところ第8波がようやく落ち着きを見せたところです。5月には感染症法上の分類が5類へ引き下げられることとなり大幅に制限が緩和される一方で、感染再拡大への不安は拭えず継続的な感染対策は今後も必要であると考えております。新型コロナウイルスと共存していく状況を日常的と捉え、いかにして医療の現場を正常化するために医療提供体制を見直していくかが求められてきます。

不安定な世界情勢により高騰し続ける光熱費や物価が私たちの生活に大きな影響を与えている状況下で、この度の5類への移行により長期に及んだコロナ禍の生活が一区切りを迎え、低迷する経済状況からの脱却により負担が軽減されることを期待したいと思います。

我々は医療従事者として病院理念のもと、引き続き地域社会へ貢献できるよう全力でその責務を全うしていく所存です。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

季節の変わり目でまだまだ寒い日もございますので、ご自愛の程心よりお祈り申し上げます。

事務部長 山崎裕樹

## 外来案内

診療科目	月	火	水	木	金	土・日
午前 認知症外来	鈴木	非常勤医師	非常勤医師	鈴木	鈴木or非常勤医師(隔週)	休診
	非常勤医師		非常勤医師(3/1, 3/15, 3/29のみ)			
一般内科	窪山・永川	永川	窪山	窪山	窪山・永川	
午後(新患のみ)	※適宜対応	非常勤医師	※適宜対応	非常勤医師	※適宜対応	

※内科受診に関しては、他院での受診をお願いさせていただく場合がございます。

受付時間	診療時間	面会時間
午前	午後	
8:45~11:30	13:00~15:00	9:00~12:00
		14:00~17:00
		現在 面会制限中※

※入院患者様への面会は木・土の予約制となっております。ご了承ください。

## 病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～  
お電話での予約が必要になります

- ・紹介状
- ・お薬手帳をご持参ください。

予約時間の変更等につきましては、13時以降に外来にお電話下さい  
○休診日○  
土曜・日曜・祝日は休診になります

蓮田市 毎月第一土曜日 10:00~12:00  
認知症カフェ  
はすカフェ  
蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施



## ～よつばご飯～



※写真は職員食になります。

### 献立

主食(主菜): 恵方巻  
副菜: 大豆とチキンのサラダ  
副菜: キウイ  
汁: 鰯のつみれ汁

### 栄養価

エネルギー: 493kcal  
たんぱく質: 20.7g  
脂質: 16.9g  
炭水化物: 61.9g  
塩分: 2.5g

最近では2月の節分と言えば恵方巻が有名になりました。当院でも毎年節分には恵方巻を提供しております。ただし、海苔は高齢者にとって窒息のリスクがある食材ですので、柔らかくて噛み切りやすい薄焼き卵を使って提供しております。もちろん、手作りで1本1本丁寧に巻いております。

管理栄養士 水野俊

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です  
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地  
電話: 048-765-7777

医療法人社団 心の絆  
よつば訪問看護リハビリステーション  
電話: 048-796-5157

蓮田よつば病院  
デイケアわかば

## 作業療法士の取り組み

今回は「認知症予防」についてご紹介いたします。

まず、「予防」についてですが、国は2019年に認知症施策推進大綱を発表し、その中で『『予防』とは『認知症にならない』という意味ではなく、『認知症になるのを遅らせる』『認知症になっても進行を緩やかにする』という意味である』としています。

また、認知症予防については、世界保健機関や米国の科学雑誌における認知症の専門家委員会、更に日本の認知症施策推進大綱など様々なところに記載があります。その中で共通している項目が以下の三点でした。それぞれに考えられる具体的取り組みについてお示しいたします。

認知症の予防項目	取組内容
運動不足の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を10分動かすことを日課にする。</li> <li>・ラジオ体操や散歩から始める。</li> <li>・地域で行われている運動教室などを調べて参加する。</li> </ul>
糖尿病や高血圧の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在薬を服用している人は飲み忘れがないようにする。</li> <li>・食生活や生活リズムに気を配る。</li> <li>・自身の健康状態が不明な方は健康診断を受けてみる。</li> </ul>
社会参加による孤立の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家の近くに話したりできる通いの場がないか探す。</li> <li>・通いの場などに定期的に参加する。</li> <li>・公開講座などに申し込んでみる。</li> </ul>

いかがでしたでしょうか。少しでも皆様の生活の中に取り入れていただけたら幸いです。  
QOL推進部作業療法科長 小林祐子

## ～よつば訪問看護リハビリステーション～

### 摂食嚥下障害～最近むせやすくなっていますか？～

飲み込んだ食物の一部が、本来通るべき食道ではなく、声帯を越えて気管に流入することを「誤嚥」と言います。誤嚥が起きると激しく咳込んだり(むせる)、いつまでも喉に唾液や食物の一部が残り、痰がからんだようなガラガラとした声になります。

Q1.誤嚥はどうして起こるか？

人間の咽頭部は、気管と食道が密接し、誤嚥が起こりやすい構造をしています。誤嚥は、脳血管疾患や呼吸器疾患の既往により発生率が高まり、その他、加齢により嚥下反射(ごっくんが起こること)が遅くなったり起こりにくくなること、歯の欠損による咀嚼能力が低下すること、強く咳が出来なくなることなどが原因となります。

Q2.誤嚥が続くとどうなるか？

誤嚥が頻繁に起こると誤嚥性肺炎を発症し入院による治療を必要としたり、慢性的な脱水・低栄養、食べる楽しみの喪失につながります。

よつば訪問看護ステーション理学療法士 森田直樹

## 看護部の取り組み

感染症法改正により新型コロナウイルスが2類から5類に変更される見通しとなった現在、認知症専門病院の当院も新型コロナウイルスの最新の治療法や感染対策を再度確認する必要性を強く感じ、講習会を開催いたしました。

講師 新久喜総合病院 感染管理認定看護師 高平裕樹先生

内容 新型コロナウイルスの治療法について

個人防護具(PPE)※1の着脱トレーニング

院内ラウンド(参加者:医師、看護師、介護福祉士、作業療法士など)



認知症患者様は体調が悪い時でも症状を的確に訴えることが難しい方も多く、食事量が減少する、元気がなくなることで体調不良に気づく時があります。反対に落ちつかなくなり興奮してしまう方もおり、認知症の悪化と勘違いされてしまうこともあります。のちに、興奮されていたのは体調が悪くなりかけていたからだのだと気づく時は、認知症の方を看護する難しさを感じます。

また、マスクを着用したり、発熱時にお部屋で安静にしていることが難しい方もいらっしゃるため、どのようにしたら感染症から患者様を守れるか考えながら、常に観察と見守りを行っております。このような試行錯誤の感染対策中の当院に、感染管理認定看護師の高平先生に直接ご指導いただけたのは大変心強く、これまでの対応が大きく間違っていなかったことが分かり安心いたしました。たくさんのご助言を頂き、大変感謝申し上げます。

今後は新型コロナウイルスと共存していかなければならない時代になっていくと思われれます。現在当院では2時間ごとに換気のアナウンスを行い、患者様の体温測定を通常より2回増やしています。自分で自分の身を守ることができない認知症の方を守るためには、認知症の方の心の代弁者となり感染予防と異常の早期発見に努めてまいりたいと思います。今後とも日々精進してまいりますので、どうぞ当院の感染対策にご協力よろしく願いいたします。

看護部長 佐藤 美佐江

※1: 個人防護具(PPE): マスク・キャップ・ガウン・手袋・フェイスシールド・シューズカバーなど。人に危険な病原体の曝露により健康な医療従事者の感染を防ぐ目的で身に着けるもの。

### ～よつば病院作業療法風景～

節分



春の壁飾り付け



### 今月の予定

○誕生会 2階・3階病棟  
随時おこないます

感染症対策のためはすカフェ、認知症予防教室、クラブ活動等を中止させていただきます。ご了承ください。